

平成 28 年

火災統計

千葉市消防局

目 次

	ページ
1 火災発生状況	
(1) 火災の前年比較	1
(2) 1日当りの火災状況	2
(3) 火災1件当りの状況	2
(4) 人口と世帯に対する損害額・焼損床面積の状況	2
(5) 出火率	3
(6) 初期消火の実施状況	3
(7) 主な火災	4
2 出火件数	
(1) 火災種別ごとの状況	5
(2) 四季別の状況	5
(3) 出火件数と気温・湿度	6
(4) 覚知方法別火災状況	6
(5) 区・町・丁目別火災発生状況	7
(6) 月別・日別火災発生状況	8
(7) 曜日別・時間別火災発生状況	9
3 損害額	
(1) 過去10年間の損害額の推移	10
(2) 火災種別ごとの損害額	10
4 火災による死傷者	
(1) 過去10年間の死傷者発生状況	11
(2) 火災種別ごとの死傷者発生状況	11
(3) 過去5年間の町・丁目別死者発生状況	12
(4) 建物用途別及び構造別死者発生状況	12・13
(5) 死亡原因	13
(6) 死亡に至った経過と年齢別の状況	14
(7) 1件で2人以上の死者が発生した火災	14
(8) 死者の発生した火災	15
5 出火原因	
(1) 主な出火原因別の出火件数及び損害額	16
(2) 出火原因ワースト5の状況	16・17

6 火災種別ごと

(1) 建物火災	18~25
ア 発生状況	18
イ 月別発生状況	18
ウ 建物用途別損害状況	19
エ 建物構造別損害状況	19
オ 損害額と焼損床面積の状況	20
カ 出火原因及び発火源・経過	20
キ 出火箇所の状況	21
ク 住宅火災	
(ア) 発生状況	22
(イ) 損害額の状況	22
(ウ) 出火原因及び発火源・経過	23
(エ) 死者発生状況	24
(オ) 負傷者発生状況	25
(2) 林野火災	26
ア 発生状況	26
イ 出火原因及び発火源・経過	26
ウ 出火箇所の状況	26
(3) 車両火災	27・28
ア 発生状況	27
イ 出火原因及び発火源・経過	27
ウ 出火箇所の状況	28
(4) 船舶火災	28
(5) その他の火災	29・30
ア 発生状況	29
イ 出火原因及び発火源・経過	29
ウ 出火箇所の状況	30

7 その他

(1) 署所別火災発生状況	31
(2) 原因別火災発生状況	32
(3) 原因別・時間別及び覚知別火災発生状況	33
(4) 火災の推移状況	34

※ 本編内の割合・比率については、四捨五入による端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

1 火災発生状況

(1) 火災の前年比較

平成28年中における火災は265件で、前年に比べると第1-1表のとおりで14件(5.0%)減少している。

第1-1表 火災の前年比較

△印……減

区 分	単位	28年(A)	27年(B)	増 減 (A)-(B)=(C)	増減率 $\frac{(C)}{(B)} \times 100$ (%)
出 火 件 数	件	265	279	△ 14	△ 5.0
建 物		150	160	△ 10	△ 6.3
林 野		2	3	△ 1	△ 33.3
車 両		33	35	△ 2	△ 5.7
船 舶		0	0	0	--
航 空 機		0	0	0	--
そ の 他		80	81	△ 1	△ 1.2
焼 損 棟 数	棟	182	211	△ 29	△ 13.7
全 焼		21	26	△ 5	△ 19.2
半 焼		5	9	△ 4	△ 44.4
部 分 焼		33	41	△ 8	△ 19.5
ぼ や		123	135	△ 12	△ 8.9
建 物 焼 損 床 面 積	m ²	1,857.0	3,314.0	△ 1,457	△ 44.0
建 物 焼 損 表 面 積		261.0	436.0	△ 175	△ 40.1
林 野 焼 損 面 積	a	1.0	2.0	△ 1	△ 50.0
死 者	人	7	8	△ 1	△ 12.5
負 傷 者	人	39	44	△ 5	△ 11.4
り 災 世 帯	世帯	108	152	△ 44	△ 28.9
全 損		24	40	△ 16	△ 40.0
半 損		5	6	△ 1	△ 16.7
小 損		79	106	△ 27	△ 25.5
り 災 人 員		235	307	△ 72	△ 23.5
損 害 額	千円	225,781	349,203	△ 123,422	△ 35.3
建 物		196,997	290,931	△ 93,934	△ 32.3
林 野				0	--
車 両		25,059	34,908	△ 9,849	△ 28.2
船 舶				0	--
航 空 機				0	--
そ の 他		3,725	1,244	2,481	199.4
爆 発			22,120	△ 22,120	△ 100.0
出 火 率		2.7	2.9	△ 0.2	△ 6.9

※ 損害額の内訳欄（爆発を除く）は物件ごとの損害額である。なお、火災種別ごとの損害額は10頁に掲載している第3-2表のとおりである。

※ 出火率とは人口1万人当りの出火件数である。なお、人口は平成28年4月1日現在の推計人口を使用している。（以下、本火災統計における人口は同様とする。）

(2) 1日当りの火災状況

火災の状況を1日当りでみると第1-2表のとおりで、出火件数は0.7件、損害額は617千円であり、建物焼損床面積は5.1平方メートルとなっている。

第1-2表 1日当りの火災状況

区 分	単 位	28年	27年
出 火 件 数	件	0.7	0.8
損 害 額	千円	617	957
建 物 焼 損 棟 数	棟	0.5	0.6
建 物 焼 損 床 面 積	m ²	5.1	9.1
建 物 焼 損 表 面 積	m ²	0.7	1.2
林 野 焼 損 面 積	a	0.0	0.01
り 災 世 帯 数	世帯	0.3	0.4
り 災 人 員	人	0.6	0.8
死 者	人	0.02	0.02
負 傷 者	人	0.1	0.1

(3) 火災1件当りの状況

火災1件当りの状況は第1-3表のとおりで、前年に比べると損害額、焼損床面積、焼損棟数、り災世帯、り災人員が減少している。

第1-3表 火災1件当りの状況

区 分	単 位	28年	27年
1 件 当 り の 損 害 額	千円	852	1,252
1件当りの（建物）焼損床面積	m ²	7.0	11.9
1件当りの（建物）焼損棟数	棟	0.7	0.8
1 件 当 り の 人 的 被 害	人	0.2	0.2
1 件 当 り の り 災 世 帯	世帯	0.4	0.5
1 件 当 り の り 災 人 員	人	0.9	1.1

(4) 人口と世帯に対する損害額・焼損床面積の状況

市民1世帯当り及び市民1人当りに換算した損害額・焼損床面積の状況は第1-4表のとおりで、前年と比較すると1世帯当り及び1人当たりの損害額・焼損床面積が減少している。

第1-4表 人口と世帯に対する損害額・焼損床面積の状況

区 分	単 位	28年	27年
市 民 1 世 帯 当 り の 損 害 額	円	533	825
市 民 1 世 帯 当 り の 焼 損 床 面 積	m ²	0.00	0.01
市 民 1 人 当 り の 損 害 額	円	232	361
市 民 1 人 当 た り の 焼 損 床 面 積	m ²	0.002	0.003

(5) 出火率

出火率（人口1万人当りの出火件数）は2.7で、10年前（平成18年）に比べると第1-5表のとおりで22.9%減少している。

第1-5表 出火率等の比較

△印・・・減

区 分	実 数		増 減 率 (%)
	平成28年	平成18年	
出 火 率	2.7	3.5	△ 22.9
出 火 件 数	265	323	△ 18.0
建 物 火 災 件 数	150	176	△ 14.8
人 口	973,574	931,387	4.5
世 帯 数	423,416	380,996	11.1

(6) 初期消火の実施状況

初期消火の実施状況は第1-6表のとおりで、全火災のうち168件（63.4%）で何らかの方法により初期消火が行われている。また、実施したうちで効果があった割合は、76.8%となっている。

第1-6表 初期消火の実施状況

	簡易消火用具	消火器	消火設備	その他	実施件数合計	未実施件数	全火災件数
実施件数	0 (0.0%)	53 (20.0%)	5 (1.9%)	110 (41.5%)	168 (63.4%)	97 (36.6%)	265 (100.0%)
奏功件数	0 (0.0%)	41 (77.4%)	5 (100.0%)	83 (75.5%)	129 (76.8%)	/	

注 1 実施件数欄の（ ）内は、全火災件数との割合である。

2 奏功件数欄の（ ）内は、実施件数との割合である。

(7) 主な火災

主な火災は、第1-7表のとおりである。

第1-7表 主な火災

No.	出火日時	出火場所	用途	出火原因	焼損棟数	焼損床面積(m ²)
1	1月16日 14時30分頃	稲毛区宮野木町	住宅	たき火	5棟	236
2	3月12日 5時50分頃	中央区川戸町	住宅	不明	6棟	305
3	5月13日 3時20分頃	緑区土気町	住宅	ローソク	7棟	216
4	11月5日 16時56分頃	若葉区中野町	住宅	風呂かまど	4棟	212

(注) 発生した火災のうち、焼損床面積200m²以上、損害額2,000万円以上のいずれかに該当するもの。

2 出火件数

(1) 火災種別ごとの状況

火災種別ごとの出火件数構成比は第2-1表のとおりで、建物火災が最も多く、150件（56.6%）となっており、以下、その他の火災が80件（30.2%）、車両火災が33件（12.5%）と続いている。

第2-1表 火災種別ごとの状況

区分	28年		27年	
建物火災	150	(56.6%)	160	(57.3%)
林野火災	2	(0.8%)	3	(1.1%)
車両火災	33	(12.5%)	35	(12.5%)
船舶火災	0	(0.0%)	0	(0.0%)
航空機火災	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他の火災	80	(30.2%)	81	(29.0%)
計	265	(100.0%)	279	(100.0%)

(2) 四季別の状況

出火件数を四季別にみると第2-2表のとおりで、冬が最も多く83件（31.3%）となっており、以下、春が80件（30.2%）で続き、夏が最も少なく50件（18.9%）となっている。

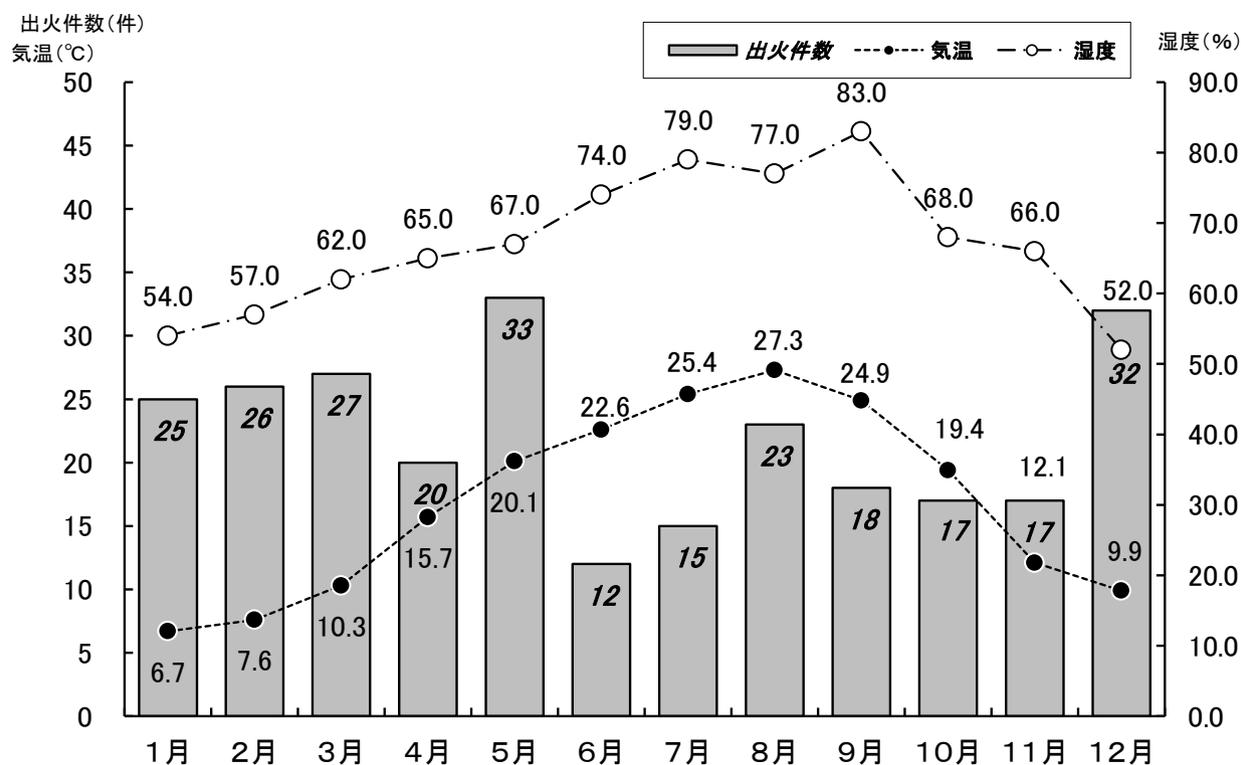
第2-2表 四季別出火件数

年 別 季 別	28 年				27 年			
	件数	割合	損害額（千円）	割合	件数	割合	損害額（千円）	割合
春 （3月～5月）	80	30.2	82,190	36.4	84	30.1	118,929	34.1
夏 （6月～8月）	50	18.9	19,156	8.5	59	21.1	142,833	40.9
秋 （9月～11月）	52	19.6	47,113	20.9	65	23.3	55,338	15.8
冬 （12月～2月）	83	31.3	77,322	34.2	71	25.4	32,103	9.2
計	265	100.0	225,781	100.0	279	100.0	349,203	100.0

(3) 出火件数と気温・湿度

出火件数と気温及び湿度の関連は第2-1図のとおりで、比較的到低気温・低湿度の12月から3月は火災件数が多い傾向がある。

第2-1図 出火件数と気温及び湿度の関連性



(4) 覚知方法別火災状況

消防機関がどのような方法により火災を覚知しているかは第2-3表のとおりで、火災報知専用電話(119)による通報が大部分を占め、154件(58.1%)となっている。(事後聞知を除く)

第2-3表 覚知方法別火災状況

覚知方法	出火件数	
	件数	割合(%)
火災報知専用電話(I P 電話)	28	10.6
火災報知専用電話(N T T 加入電話)	36	13.6
火災報知専用電話(携帯電話から)	90	34.0
加入電話	3	1.1
加入電話(携帯電話から)	2	0.8
警察電話	18	6.8
駆け付け	0	0.0
事後聞知	84	31.7
その他	4	1.5
計	265	100.0

(5) 区・町・丁目別火災発生状況

区・町・丁目別火災発生件数は第2-4表のとおりで、中央区川崎町が最多で22件(8.3%)となっている。

第2-4表 区・町・丁目別火災発生状況

中央区	旭町	今井2丁目	今井町	生実町	春日2丁目	要町	亀岡町	川崎町	川戸町	栄町	寒川町2丁目	寒川町3丁目	白旗1丁目	新町	神明町	末広2丁目	末広3丁目	末広4丁目	千葉寺町	中央1丁目	中央3丁目	中央4丁目	
83	1	1	2	1	1	1	1	22	1	1	2	1	1	1	5	1	1	1	1	1	1	1	
椿森2丁目	道場北2丁目	道場南2丁目	長洲2丁目	新浜町	仁戸名町	登戸2丁目	浜野町	東千葉2丁目	富士見1丁目	富士見2丁目	星久喜町	本千葉町	南生実町	南町2丁目	都町	都町1丁目	宮崎2丁目	宮崎町	村田町	祐光4丁目	蘇我3丁目	花見川区	
1	1	1	1	4	2	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	3	2	2	2	1	44	
宇那谷町	柏井町	検見川町 1丁目	検見川町 3丁目	検見川町 5丁目	検見川町 6丁目	こてはし台	犢橋町	作新台2丁目	作新台4丁目	作新台8丁目	さつきが丘 1丁目	大日町	武石町1丁目	千種町	長作町	畑町	花園町	花見川	幕張町2丁目	幕張町4丁目	幕張町5丁目	幕張本郷 2丁目	幕張本郷 4丁目
2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	4	1	2	1	1	1	2	4	1	1	
幕張本郷 5丁目	幕張本郷 7丁目	横戸町	宮野木台 1丁目	朝日ヶ丘 1丁目	柏井4丁目	稲毛区	稲毛1丁目	稲毛3丁目	稲毛4丁目	稲毛5丁目	黒砂台3丁目	小仲台1丁目	小仲台5丁目	小仲台6丁目	小仲台8丁目	小中台町	小深町	作草部町	山王町	園生町	千草台1丁目	天台1丁目	
2	1	2	1	1	1	31	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	7	1	1	
天台2丁目	轟町4丁目	長沼町	宮野木町	作草部1丁目	若葉区	大草町	太田町	大宮町	小倉台4丁目	加曾利町	北谷津町	坂月町	高品町	多部田町	千城台東 2丁目	都賀2丁目	都賀3丁目	中田町	中野町	西都賀2丁目	西都賀4丁目	野呂町	
1	1	2	3	1	36	1	1	5	1	3	1	1	2	1	1	1	1	2	2	1	1	1	
原町	東寺山町	源町	若松町	桜木4丁目	緑区	板倉町	大金沢町	大木戸町	大椎町	高津戸町	土気町	平川町	辺田町	菅田町1丁目	菅田町2丁目	おゆみ野 2丁目	おゆみ野 4丁目	おゆみ野 5丁目	おゆみ野 中央8丁目	おゆみ野 1丁目	おゆみ野 2丁目	おゆみ野 3丁目	
1	2	1	5	1	25	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	
おゆみ野南 5丁目	あすみが丘 東3丁目	美浜区	磯辺2丁目	磯辺8丁目	稲毛海岸 3丁目	稲毛海岸 4丁目	稲毛海岸 5丁目	打瀬1丁目	打瀬2丁目	幸町1丁目	幸町2丁目	新港	高洲1丁目	高浜2丁目	高浜7丁目	豊砂	中瀬2丁目	浜田1丁目	ひび野1丁目	ひび野2丁目	真砂2丁目	真砂3丁目	
2	1	46	4	2	1	1	1	1	1	1	1	5	2	1	2	4	3	1	1	6	3	1	
美浜	若葉3丁目																					総計	
3	1																					265	

(6) 月別・日別火災発生状況

月別・日別火災発生件数は、第2-5表のとおりである。(出火日時により計上)
 月別でみると5月が最多で33件(12.5%)で、次いで12月が32件(12.1%)となっている。
 また、日別でみると6日が最多で、13件(4.9%)となっており、上旬(1日～10日)に87件、中旬(11日～20日)に81件、下旬(21日～31日)に90件発生している。

第2-5表 月別・日別火災発生状況

日	月												
	計 265	1 25	2 26	3 27	4 20	5 33	6 12	7 15	8 23	9 18	10 17	11 17	12 32
1	5	2								2	1		
2	9	1	1	2	1	2	1						1
3	7		1	1	1	2			1		1		
4	5					1	1	1				1	1
5	10	1	2			2	3	1				1	
6	13				2	2		1	1	1	1	3	2
7	9	1	1	1	2						1		3
8	9		1			1		1	1	1		2	2
9	9				1	1			2	2	1		2
10	11		4			2			1	2			2
11	7		2		1	1			1	1	1		
12	7			1	1	1		1		1		1	1
13	9	1	1			1		1	3	1		1	
14	8		2	1		1		1	2	1			
15	4			1	1						1	1	
16	11	3	1		1			1	2	1	2		
17	7	1		1		1	1					1	2
18	12	1	1	3			2		1	1	1	1	1
19	8			1	1				1		3		2
20	8	1		1	1	1	1					2	1
21	10	1		1	1	2		1		2		1	1
22	9	3	1	2			1		1				1
23	10		1	1	1	1	1	1		1	1		2
24	7	1		1	1	2							2
25	9		4	1		1			2				1
26	6	1	1			1			1		1	1	
27	6	2		2		1			1				
28	5	1	1				1		1		1		
29	9	2			2			2					3
30	8	1	/	1	2	1		2		1			
31	11	1	/	3	/	2	/	1	1	/	1	/	2
不明	7		1	2		3						1	

(7) 曜日別・時間別火災発生状況

曜日別・時間別火災発生状況は第2-6表(出火日時により計上) のとおりで、曜日別で見ると土曜日が最多で44件(16.6%)、時間別で見ると18時台が最多で20件(7.5%)となっている。

第2-6表 曜日別・時間別火災発生状況

時間	曜日		日	月	火	水	木	金	土	不明
	計	曜日								
	265		35	23	36	36	42	42	44	7
0 ~	12		0	1	2	1	3	3	2	0
1 ~	13		1	0	2	3	2	2	3	0
2 ~	8		1	2	2	1	0	2	0	0
3 ~	8		0	1	1	1	1	1	3	0
4 ~	4		1	0	1	0	1	1	0	0
5 ~	10		2	2	0	0	2	2	2	0
6 ~	5		2	0	0	1	0	2	0	0
7 ~	2		1	0	0	1	0	0	0	0
8 ~	11		2	1	2	1	3	1	1	0
9 ~	13		1	1	1	6	2	2	0	0
10 ~	10		1	0	2	0	2	5	0	0
11 ~	13		2	4	2	1	0	3	1	0
12 ~	13		3	1	2	1	2	2	2	0
13 ~	13		1	1	1	2	4	1	3	0
14 ~	8		2	0	2	1	2	1	0	0
15 ~	7		1	0	1	1	0	1	3	0
16 ~	16		3	3	3	0	3	2	2	0
17 ~	12		0	0	2	4	2	1	3	0
18 ~	20		2	2	5	1	4	2	4	0
19 ~	16		2	3	2	2	2	1	4	0
20 ~	12		1	0	1	2	2	1	5	0
21 ~	13		4	0	1	2	2	3	1	0
22 ~	8		2	1	0	1	0	1	3	0
23 ~	10		0	0	1	3	3	1	2	0
不明	8		0	0	0	0	0	1	0	7

3 損害額

(1) 過去10年間の損害額の推移

損害額は、前年に比べると123,422千円減少しており、過去10年間の火災による損害額の推移は第3-1表のとおりで、平均は408,553千円である。

第3-1表 過去10年間の火災による損害額の推移

年別	19年	20年	21年	22年	23年
出火件数	366	310	316	317	316
同上指数	100	85	86	87	86
損害額(千円)	286,577	381,556	684,774	418,089	446,250
同上指数	100	133	239	146	156
1件当りの損害額(千円)	783	1,231	2,167	1,319	1,412
同上指数	100	157	277	168	180
年別	24年	25年	26年	27年	28年
出火件数	295	330	300	279	265
同上指数	81	90	82	76	72
損害額(千円)	401,041	510,491	381,765	349,203	225,781
同上指数	140	178	133	122	79
1件当りの損害額(千円)	1,359	1,547	1,273	1,252	852
同上指数	174	198	163	160	109

※ 各指数は、平成19年の数値を100とした場合の比較値である。

(2) 火災種別ごとの損害額

損害額を火災種別ごとにみると第3-2表のとおりで、建物火災による損害額が87.7%と大部分を占めている。1件当りの損害額は1,320千円である。

第3-2表 火災種別々損害額

火災種別	損害額(千円)	割合(%)	1件当りの損害額(千円)
建物火災	197,998	87.7	1,320
林野火災	0	0.0	--
車両火災	24,905	11.0	755
船舶火災	0	0.0	--
航空機火災	0	0.0	--
その他の火災	2,878	1.3	36
計	225,781	100.0	852

4 火災による死傷者

(1) 過去10年間の死傷者発生状況

火災による死者は7人で前年と比較して1人減少しており、負傷者は5人減少している。

死傷者の過去10年間の推移をみると第4-1表のとおりで、火災件数と死傷者数に相関関係は特に認められない。

第4-1表 過去10年間の死傷者発生状況

区分 \ 年別	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
出火件数	366	310	316	317	316	295	330	300	279	265
死者	9	2	6	12	12	13	13	5	8	7
指数	100	22	67	133	133	144	144	56	89	78
負傷者	50	71	57	38	39	40	55	78	44	39
指数	100	142	114	76	78	80	110	156	88	78

※ 各指数は、平成19年の数値を100とした場合の比較値である。

(2) 火災種別ごとの死傷者発生状況

火災種別ごとの死傷者発生状況は第4-2表のとおりで、死者は建物火災のみで発生しており、負傷者は建物火災の比率が非常に高い。

第4-2表 火災種別ごとの死傷者発生状況

区分	出火件数	死者(人)	割合(%)	負傷者(人)	割合(%)
建物火災	150	7	100.0	32	82.1
林野火災	2	0	0.0	0	0.0
車両火災	33	0	0.0	3	7.7
船舶火災	0	0	0.0	0	0.0
航空機火災	0	0	0.0	0	0.0
その他の火災	80	0	0.0	4	10.3
計	265	7	100.0	39	100.0

(3) 過去5年間の町・丁目別死者発生状況

過去5年間の町・丁目別死者発生状況は第4-3表のとおりで、花見川区が最も多く13人（28.3%）、次いで中央区が12人（26.0%）となっている。

第4-3表 過去5年間の町・丁目別死者発生状況

町・丁目 年別	計	中央区										花見川区						稲毛区				若葉区				緑区		美浜区											
		旭市	葛城	川戸	栄	末	大	千	道	仁	登	祐	検	花	宇	千	長	幕	横	六	稲	宮	園	山	緑	大	古	桜	千	千	都	源	大	お	香	磯	高	美	
計	46	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1
24年	13	1			1	1		1		1	1		1				2										1	1					1	1					
25年	13		1	1			1									2		4			1				1						1								1
26年	5																													2							1	2	
27年	8							1			1					1			1	1				1				1	1										
28年	7			1									1	1	1						1		1											1					

(4) 建物用途別及び構造別死者発生状況

建物用途別死者発生状況は第4-4表のとおりで、死者が発生しているのは住宅のみである。
建物構造別死者発生状況は第4-5表のとおりで、木造建物が6人で最も多く死者が発生している。

第4-4表 建物用途別死者発生状況

区分	計	専用住宅	共同住宅	併用住宅					併用共同住宅				寄宿舎	病院	店舗	物置	事務所	作業所	倉庫	その他
				店舗	浴場	映画館	事務所	作業所	住居	店舗	事務所	作業所								
地階																				
地上 1	6	3	3																	
2	1	1																		
3																				
4																				
5階以上																				
階数不明																				
計	7	4	3																	

第4-5表 建物構造別死者発生状況

区分	計	建物火災					その他 屋内
		木造	防火	準耐火		耐火	
				木造	非木造		
地階							
地上1階	6	5				1	
2	1	1					
3							
4							
5階以上							
階数不明							
計	7	6				1	

(5) 死亡原因

過去10年間の死亡原因を見ると第4-6表のとおりで、一酸化炭素中毒・窒息が38人で最も多く、43.7%を占めている。

第4-6表 死亡原因

区分 年別	計	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・ 骨折等	自殺	その他	不明
19年	9	3	4		2		
20年	2	1			1		
21年	6	1	3		2		
22年	12	5	2		2		3
23年	12	3	6		2	1	
24年	13	8	1		2		2
25年	13	5	2		6		
26年	5	3			1		1
27年	8	4	3		1		
28年	7	5	1				1
計	87	38	22		19	1	7

(6) 死亡に至った経過と年齢別の状況

死亡に至った経過と年齢別の状況は第4-7表のとおりで、全員が51歳以上であり、また高齢者（65歳以上）が85.7%を占めている。

第4-7表 死亡に至った経過と年齢別の状況

区分	計	就寝中									起床中									放火自殺	放火自殺者の巻添者	放火殺人による死者	不明				
		熟睡	泥酔	病気・身体不自由	乳幼児のため	老衰	延焼拡大が早く	逃げ遅れ	出火後進入・再進入	着衣着火	その他	泥酔	病気・身体不自由	乳幼児のため	老衰	延焼拡大が早く	逃げ遅れ	出火後進入・再進入	着衣着火					その他			
0～5歳																											
6～10																											
11～20																											
21～30																											
31～40																											
41～50																											
51～60	1	1																									
61～70	1																1										
71～80	3																										3
81～	2											1				1											
不明																											
計	7	1										1				1	1										3
割合(%)	100	14.3									42.9												42.9				
高齢者(65～)	6											1				1	1										3

(7) 1件で2人以上の死者が発生した火災

昭和30年以降、1件で2人以上の死者が発生した火災は第4-8表のとおりで、平成28年は発生していない。

第4-8表 1件で2人以上の死者が発生した火災

区分	件数		性別		火災種別			健康状態				発生位置						職業				死因				
	件数	人員	男	女	建物	車両	その他	良	否	酩酊	不明	一階	二階	三階	四階	階数不明	車両	その他	会社員	主婦	学生	幼児	無職	焼死	C0中毒	不明
2人	18	36	21	15	16	1	1	26	5		5	25	2	5			2	2	18	2	3	4	9	23	12	1
3人	7	21	12	9	6	1		17		1	3	9		3	3	3	3		2	3	3	10	3	11	7	3
4人	2	8	4	4	2			8				7	1						1	1	4	2	3	5		
5人	1	5	1	4	1			5						5					2		3			5		
計	28	70	38	32	25	2	1	56	5	1	8	41	3	13	3	3	5	2	20	8	7	21	14	37	29	4

(8) 死者の発生した火災

火災による死者は7人で、前年と比較すると1人減少している、また、高齢者（65歳以上）の死者は6人発生している。

なお、死者の発生した火災は第4-9表のとおりである。

第4-9表 死者の発生した火災

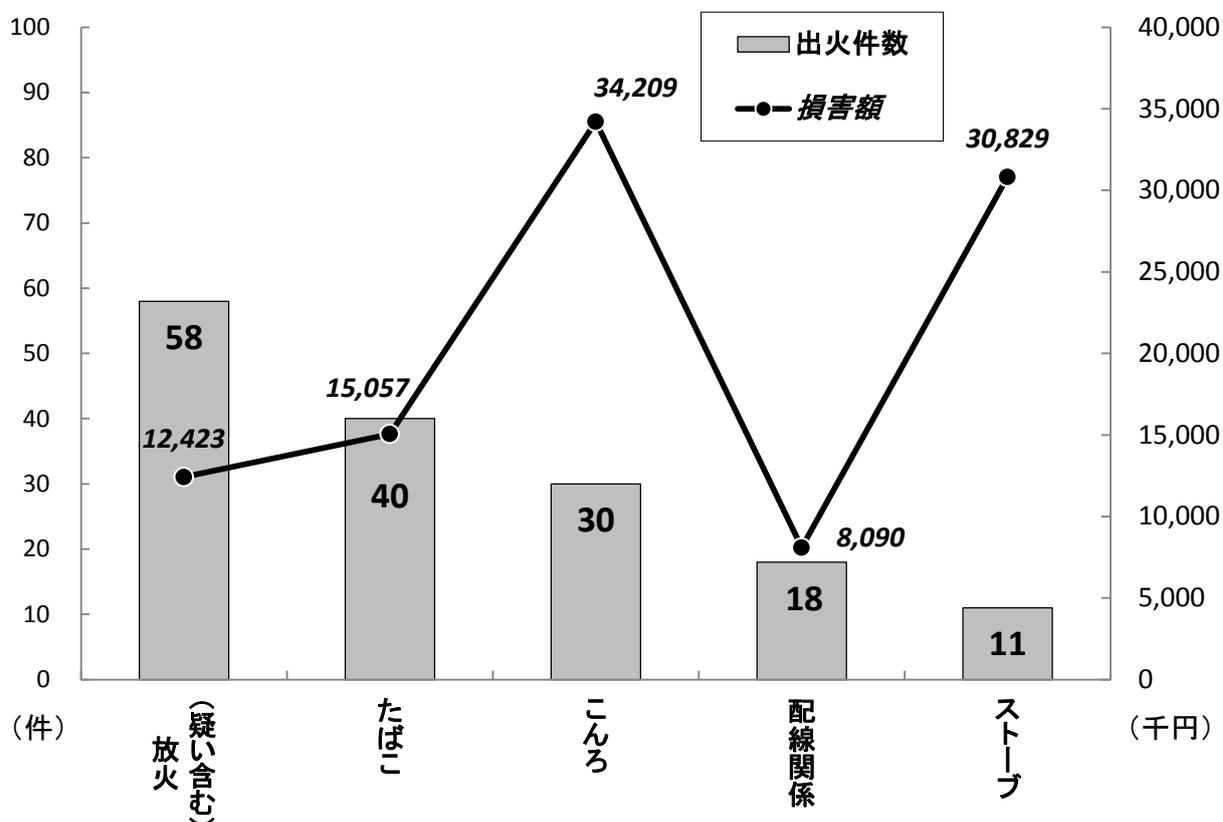
No.	発生日	出火場所	種別	用途	性別
1	1月26日	稲毛区宮野木町	建物	専用住宅	男
2	1月30日	稲毛区山王町	建物	共同住宅	男
3	3月12日	中央区川戸町	建物	専用住宅	男
4	4月30日	花見川区花見川	建物	共同住宅	男
5	5月12日	花見川区こてはし台 6丁目	建物	専用住宅	男
6	5月24日	緑区おゆみ野4丁目	建物	共同住宅	女
7	12月18日	花見川区宇那谷町	建物	専用住宅	男

5 出火原因

(1) 主な出火原因別の出火件数及び損害額

主な出火原因別の件数及び損害額の状況は第5-1図のとおりで、出火件数は放火（疑い含む）が最も多く58件（21.9%）となっており、損害額はこんろが最も多く34,209千円（15.2%）となっている。

第5-1図 出火原因別出火件数及び損害額



(2) 出火原因ワースト5の状況

ア 放火（疑い含む）の発火源別出火件数

放火（疑い含む）の出火件数は58件であり、火源は「不明」が44件（75.9%）、次いで「ライター」が6件となっている。

イ たばこの経過別出火件数

たばこの出火件数は40件であり、経過は「不適當なところに捨て置く」が30件（75.0%）、次いで「火源が転倒落下する」が9件となっている。

ウ こんろの経過別出火件数

こんろの出火件数は30件であり、経過は「放置する、忘れる」が15件（50.0%）、次いで「引火する」が3件となっている。

エ 配線関係の経過別出火件数

配線関係の出火件数は18件であり、経過は「電線が短絡する」が6件（33.3%）、次いで「金属の接触部が過熱する」が5件となっている。

オ ストーブの経過別出火件数

ストーブの出火件数は11件であり、経過は「輻射を受けて発火した」が6件（54.5%）、次いで「可燃物が動いて火源に触れる」、「考え違いにより使用方法を誤る」がそれぞれ2件となっている。

第5-1表 出火原因ワースト5の状況

区 分	単位	放火（放火の疑い）	たばこ	こんろ	配線関係	ストーブ
件 数	件	58（ 16 ）	40	30	18	11
建 物	件	17（ 4 ）	25	29	15	11
林 野		0（ 0 ）	1	0	0	0
車 両		6（ 2 ）	1	0	0	0
船 舶		0（ 0 ）	0	0	0	0
航 空 機		0（ 0 ）	0	0	0	0
そ の 他		35（ 10 ）	13	1	3	0
主な発火源 及び経過		件	不明 44（ 16 ）	不適當なところに捨て置く 30	放置する、 忘れる 15	電線が短絡する 6
		ライター 6（ 0 ）	火源が転倒落下する 9	引火する 3	金属の接触部が過熱する 5	考え違いにより使用方法を誤る 2
		マッチ 2（ 0 ）	火源が動いて接触する 1	その他 12	半断線により発熱する 3	可燃物が動いて火源に触れる 2
		その他 6（ 0 ）			その他 4	
建物焼損 床面積	㎡	98（ 6 ）	211	148	26	200
建物焼損 表面積		3（ 0 ）	10	10	7	144
林 野 焼 損 面 積	a	0（ 0 ）	0	0	0	0
損 害 額	千円	12,423（ 328 ）	15,057	34,209	8,090	30,829

6 火災種別ごと

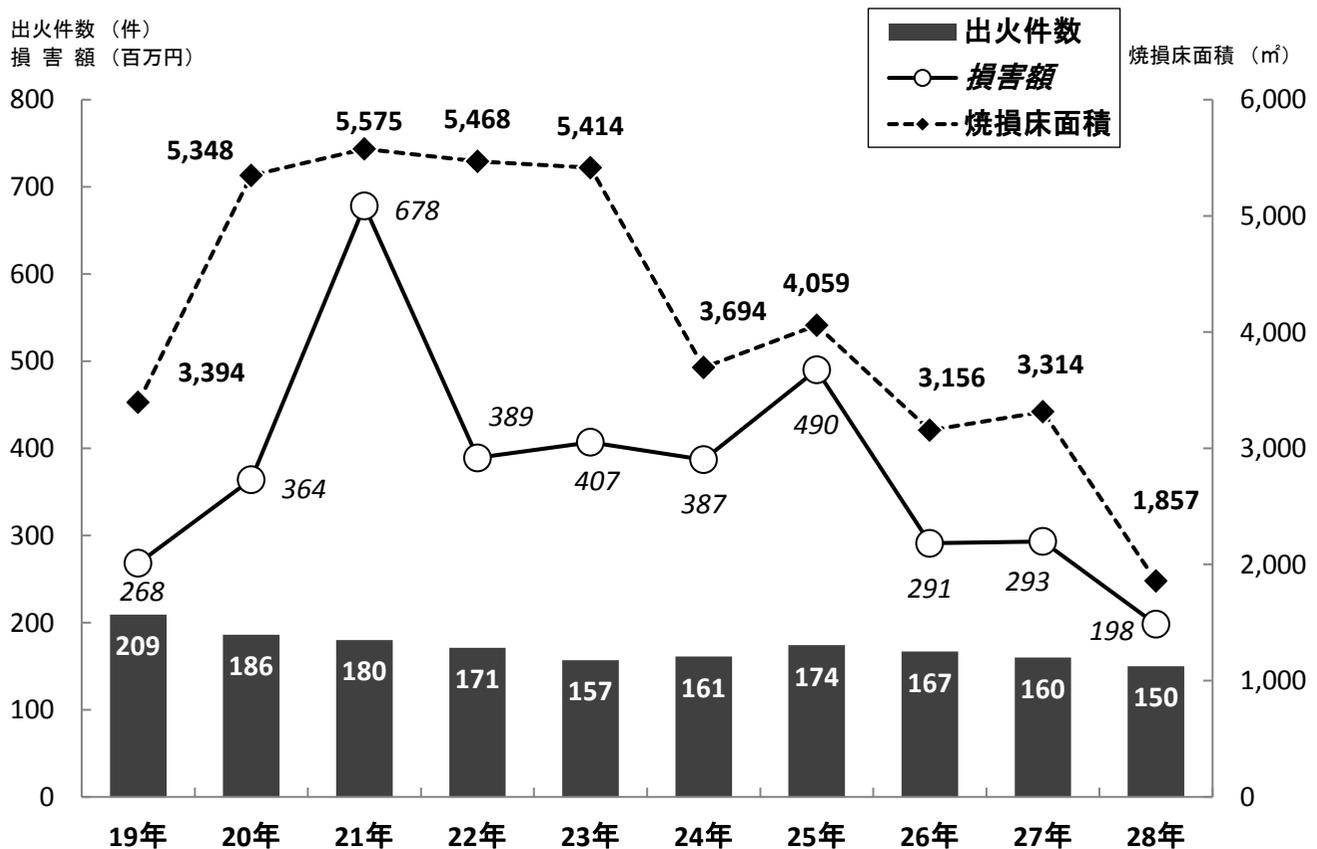
(1) 建物火災

ア 発生状況

建物火災は150件で前年に比べると10件減少しており、損害額は約1億9千8百万円で約9千6百万円減少している。

過去10年間の推移は第6-1図のとおりで、平均は出火件数172件、焼損床面積4,128㎡、損害額3億7千6百万円である。

第6-1図 建物火災の推移（過去10年間）



イ 月別発生状況

月別発生状況は第6-1表のとおりで、5月が21件と最も多く、次いで1月及び2月となっている。また、年間の月平均出火件数は約12.5件である。

第6-1表 月別の建物火災発生状況

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
件数	16	16	13	14	21	8	6	14	9	9	10	14	150
%	10.7	10.7	8.7	9.3	14.0	5.3	4.0	9.3	6.0	6.0	6.7	9.3	100.0

ウ 建物用途別損害状況

建物用途別損害状況は第6-2表のとおりで、専用住宅・共同住宅(寄宿舍・寮を含む)・併用住宅が83件で全体の57.3%を占めている。

第6-2表 建物用途別損害状況

用途	出火件数		焼損床面積	焼損表面積	損害額
	27年	28年	28年 (㎡)	28年 (㎡)	28年 (千円)
専用住宅	42	36	1,487	68	125,259
共同住宅	50	43	260	143	18,480
店舗併用住宅	0	1	0	0	1
その他の併用住宅	0	0	0	0	0
寄宿舍・寮	1	3	0	1	2,187
事務所	4	2	18	0	749
飲食店・物品販売店舗	2	9	0	12	1,443
作業所・工場	13	16	0	0	17,049
倉庫・物置・納屋	6	8	13	10	2,323
車庫	1	0	0	0	0
学校	0	1	0	0	0
病院(診療所)・福祉施設等	3	1	0	0	25
その他	38	30	79	27	30,482
小計	160	150	1,857	261	197,998
類焼	1	0	0	0	0
合計			1,857	261	197,998

エ 建物構造別損害状況

建物構造別損害状況は第6-3表のとおりで、耐火建物からの出火件数が60件であり、建物火災全体の40.0%を占めている。

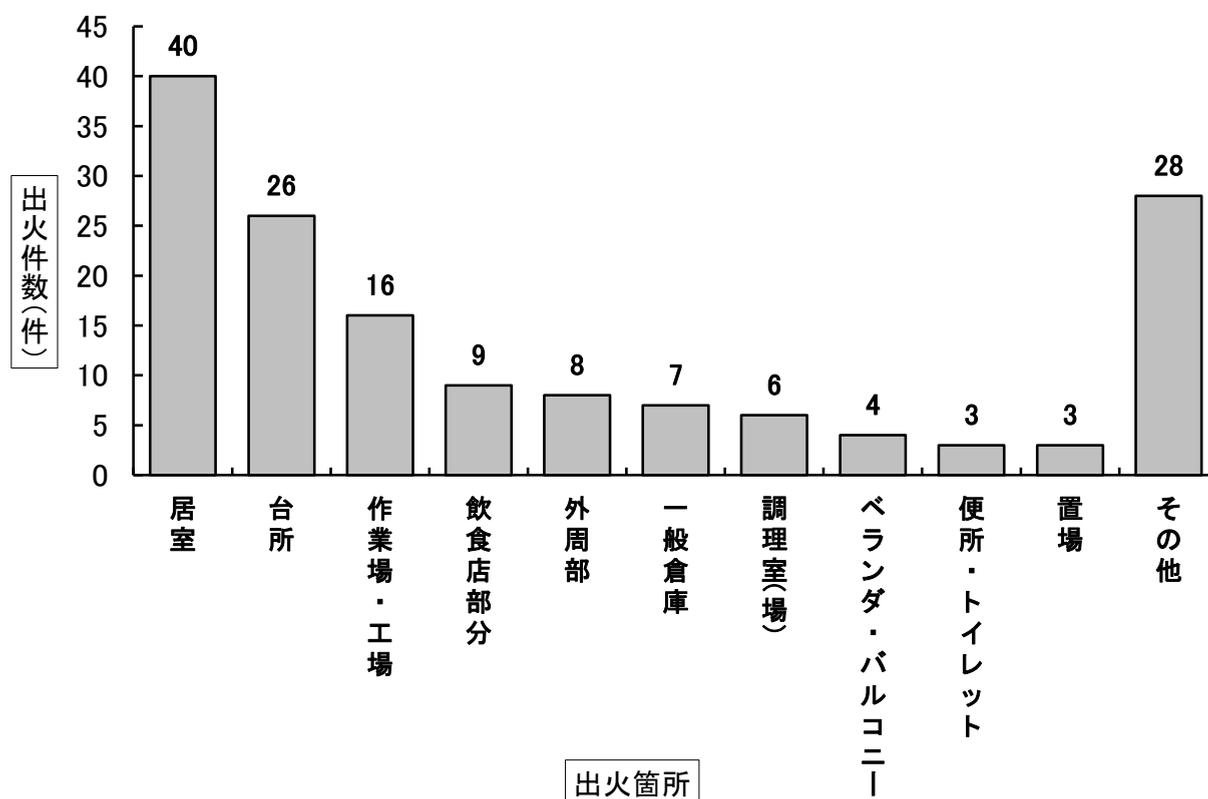
第6-3表 建物構造別損害状況

損害状況 構造	27年 出火 件数	28年						
		出火 件数	延焼 件数	延焼率 (%)	焼損 棟数	1件当り焼損面積 (㎡)		1件当り の損害額 (千円)
						床面積	表面積	
木造	45	45	8	17.8	70	33.4	1.7	2,392
防火構造	2	10	0	0.0	10	0.0	0.0	1,547
準耐(木造)	9	7	2	28.6	10	22.7	1.4	2,987
準耐(非木造)	21	24	1	4.2	26	2.0	1.1	373
耐火	69	60	0	0.0	60	2.2	2.4	739
その他	14	4	0	0.0	4	3.0	0.0	171
計	160	150	11	7.3	180	12.4	1.7	1,320

キ 出火箇所の状況

建物火災の出火箇所は第6-3図のとおりで、居室が最も多く40件（26.7%）、次いで台所が26件（17.3%）、作業所・工場が16件（10.7%）となっている。

第6-3図 建物火災の出火箇所の状況



ク 住宅火災

(7) 発生状況

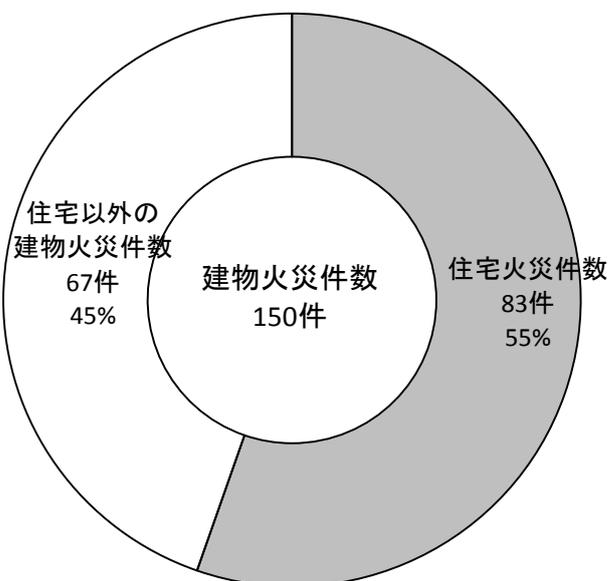
建物火災のうち、住宅火災（専用住宅・共同住宅・併用住宅の火災を指す。以下同様。）の発生件数は第6-5表のとおりで、過去3年間の平均は約95件（専用住宅44.7件、共同住宅56.0件、併用住宅0.3件）である。また、住宅火災は第6-4図のとおり建物火災全体の55%を占めている。

第6-5表 住宅火災の発生状況

年	件数	建物火災件数 (件)	住宅火災件数			
			(件)	専用住宅	共同住宅	併用住宅
平成26年		167	110 (65.9%)	49 (44.5%)	61 (55.5%)	0 (0.0%)
平成27年		160	93 (58.1%)	49 (45.2%)	61 (54.8%)	0 (0.0%)
平成28年		150	83 (55.3%)	36 (43.4%)	46 (55.4%)	1 (1.2%)

注 1 住宅火災件数欄の（ ）内は、建物火災件数との割合である。
 2 専用住宅欄・共同住宅欄・併用住宅欄の（ ）内は、住宅火災件数との割合である。

第6-4図 住宅火災の発生状況



(4) 損害額の状況

住宅火災の損害額は第6-6表のとおりで、建物火災損害額の73.7%を占めている。過去3年間の平均は169,254千円（専用住宅135,338千円、共同住宅33,916千円、併用住宅0円）である。

第6-6表 住宅火災の損害額状況

年	件数	建物火災損害額 (千円)	住宅火災損害額			
			(千円)	専用住宅	共同住宅	併用住宅
平成26年		291,111	203,905 (70.0%)	159,180 (78.1%)	44,725 (21.9%)	0 (0.0%)
平成27年		293,047	157,931 (53.9%)	121,574 (77.0%)	36,357 (23.0%)	0 (0.0%)
平成28年		197,998	145,927 (73.7%)	125,259 (85.8%)	20,667 (14.2%)	1 (0.0%)

注 1 住宅火災損害額欄の（ ）内は、建物火災損害額との割合である。
 2 専用住宅欄・共同住宅欄・併用住宅欄の（ ）内は、住宅火災損害額との割合である。

(ウ) 出火原因及び発火源・経過

住宅火災の出火原因と主な発火源・経過は第6-7表のとおりで、出火原因はこんろが最も多く21件で、前年と比較して3件増加し、住宅火災全体の25.3%を占めている。また、そのうちの経過は「放置する・忘れる」が11件で最も多い。たばこ及びストーブも前年と比較して増加している。

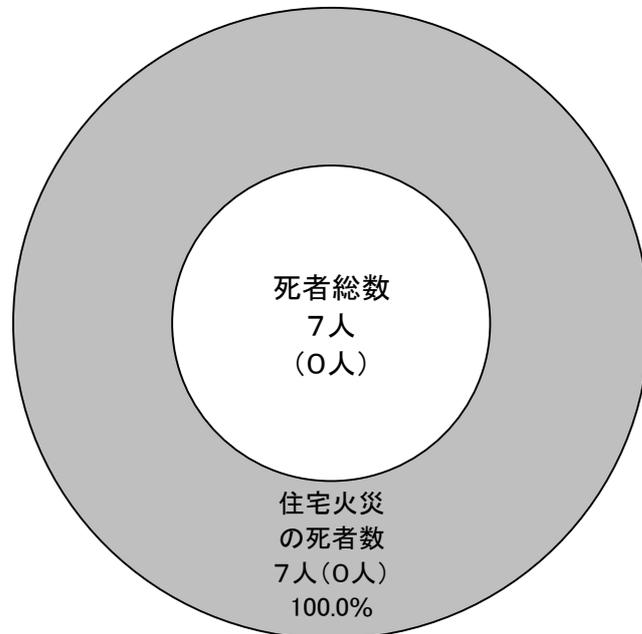
第6-7表 住宅火災の出火原因及び発火源・経過

原因	経 過	平成26年	平成27年	平成28年
こんろ	放置する・忘れる	12	10	11
	可燃物が動いて火源に触れる	1	2	3
	過熱する		1	
	引火する	2	1	3
	考え違いにより使用を誤る		2	
	伝導過熱する			
	その他	1	2	4
	計	16	18	21
たばこ	不適當なところに捨て置く	10	6	9
	火源が転倒落下する	6	5	8
	可燃物が火源の上に転倒落下する			
	可燃物が動いて火源に触れる			
	容器から火種がこぼれる			
	残り火の処置が不十分			
	その他	1	2	
	計	17	13	17
ストーブ	可燃物が動いて火源に触れる	1	2	2
	輻射を受けて発火する	1	2	6
	可燃物が火源の上に転倒落下する	3	2	1
	考え違いにより使用を誤る			2
	その他	8	2	
	計	13	8	11
配線関係	絶縁劣化による発熱	2	2	
	半断線により発熱	2	2	1
	金属の接触部が過熱する	1	2	2
	電線が短絡する	1		
	スパークする	1		1
	その他		1	3
	計	7	7	7
そ の 他		32	28	17
放火 (疑い含む)		25	19	10
合 計		110	93	83

(I) 死者発生状況

火災による死者のうち、住宅火災による死者数は第6-5図のとおりで、全て住宅火災で発生している。なお、図の（ ）内は、放火自殺者等の数である。

第6-5図 住宅火災の死者発生状況



a 年齢別死者発生状況

年齢別による死者は第6-8表のとおりで、高齢者（65歳以上）の死者は6人発生している。

第6-8表 住宅火災の年齢別死者発生状況

	0歳～5歳	6歳～10歳	11歳～20歳	21歳～64歳	65歳～	不明	計	全死者数
平成26年					4		4	5
平成27年				4	4		8	8
平成28年				1	6		7	7

b 死亡に至った経過状況

死亡に至った経過状況は第6-9表のとおりである。

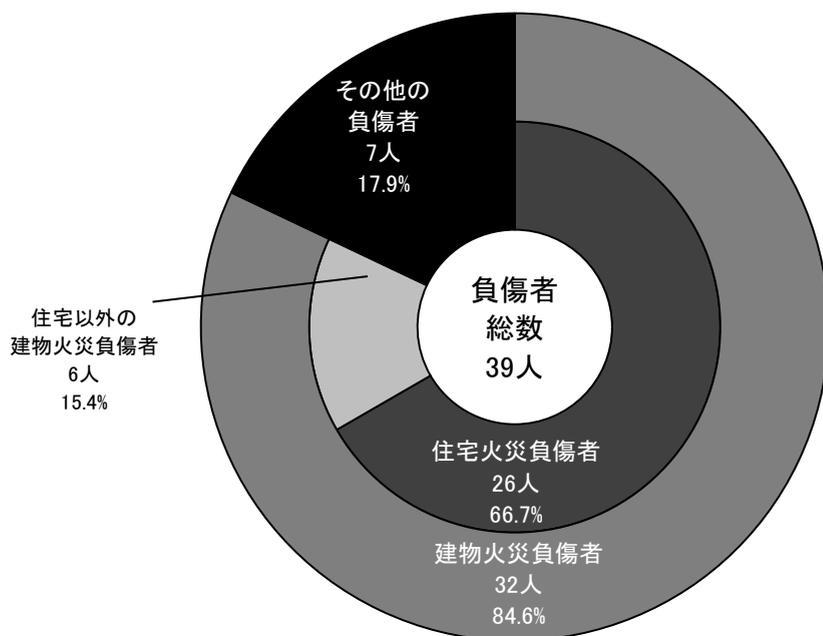
第6-9表 住宅火災の死者発生経過状況

	熟睡	泥酔	逃げ遅れ	身体不自由	着衣着火	放火	その他	計	全死者数
平成26年	1						3	4	5
平成27年	2		1	2	1	1	1	8	8
平成28年	1			1			5	7	7

(オ) 負傷者発生状況

火災による負傷者のうち、住宅火災による負傷者は第6-6図のとおりで、負傷者全体の66.6%を占めている。

第6-6図 住宅火災の負傷者発生状況



a 年齢別負傷者発生状況

年齢別による負傷者は第6-10表のとおりで、高齢者（65歳以上）が9人（34.6%）である。

第6-10表 住宅火災の年齢別負傷者発生状況

	0歳～5歳	6歳～10歳	11歳～20歳	21歳～64歳	65歳～	計	全負傷者数
平成26年		1	1	30	15	47	78
平成27年	2	3		18	8	31	44
平成28年			3	14	9	26	39

b 負傷に至った経過状況

負傷に至った経過状況は第6-11表のとおりで、「煙を吸う」及び「火炎にあおられる」がいずれも12人（46.2%）となっている。

第6-11表 住宅火災の負傷に至った経過状況

	平成26年	平成27年	平成28年
火炎にあおられる	26	11	12
煙を吸う	13	13	12
放射熱	3	1	
飛散物		3	1
転落負傷	1		
その他	4	3	1
計	47	31	26
全負傷者数	78	44	39

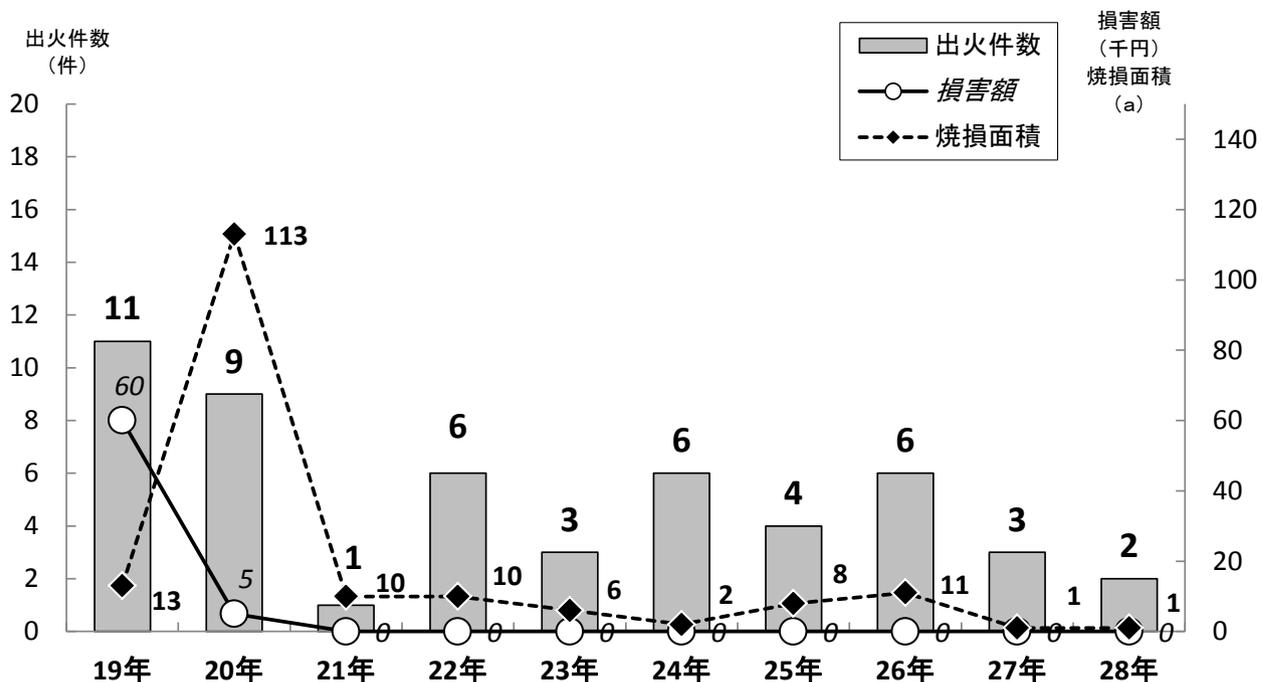
(2) 林野火災

ア 発生状況

林野火災は2件で、前年に比べると1件減少している。

過去10年間の推移は第6-7図のとおりで、平均は出火件数5.1件、損害額約6千5百円、焼損面積17.5 aである。

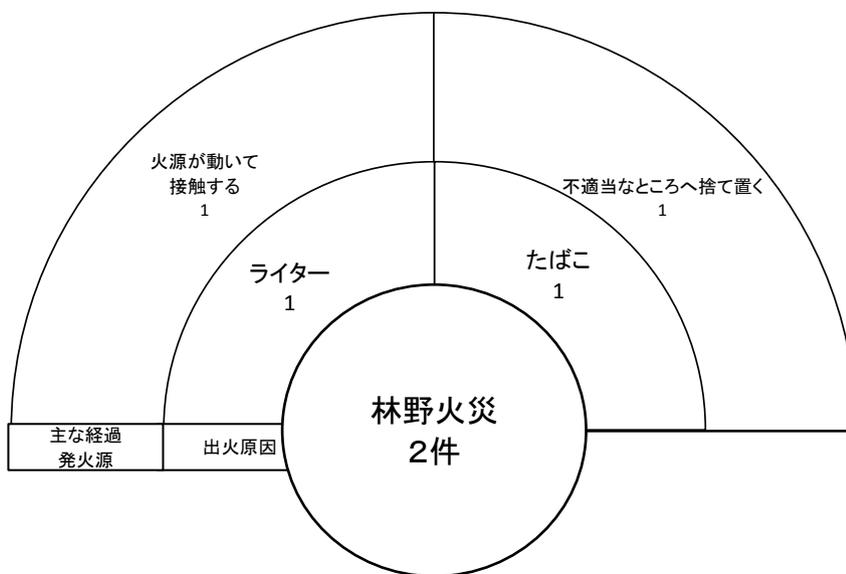
第6-7図 林野火災の推移（過去10年間）



イ 出火原因及び発火源・経過

林野火災の出火原因及び主な発火源・経過は第6-8図のとおりである。

第6-8図 林野火災の出火原因及び発火源・経過



ウ 出火箇所の状況

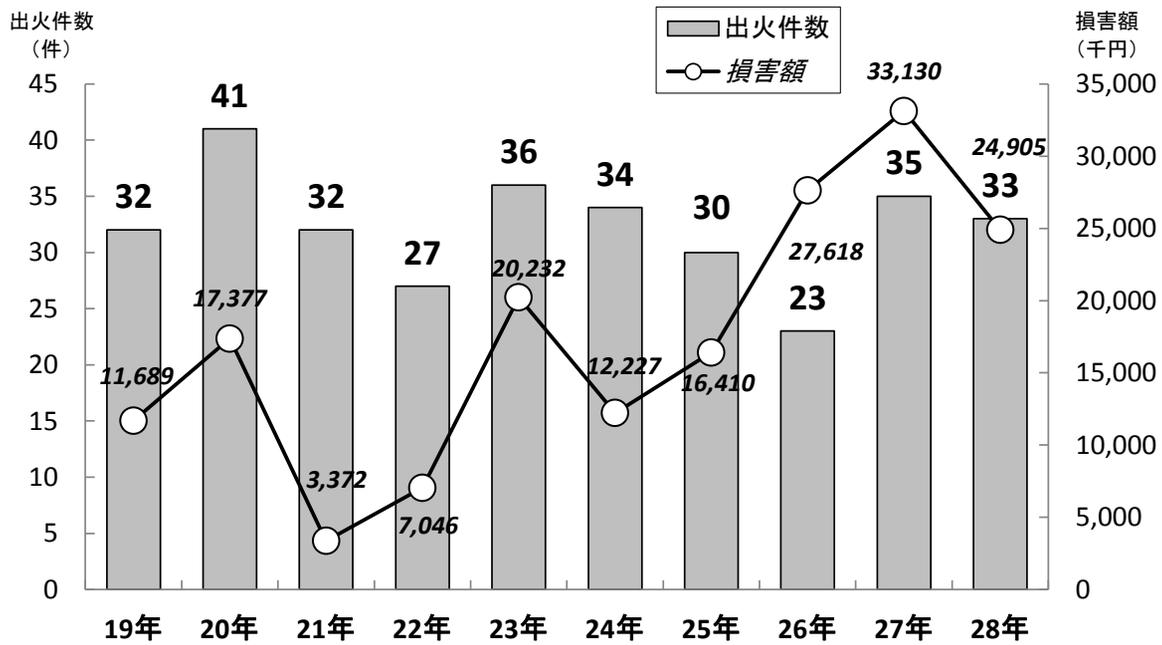
林野火災の出火箇所は、天然林1件、人工林1件となっている。

(3) 車両火災

ア 発生状況

車両火災は33件で、前年に比べると2件減少している。
過去10年間の推移は第6-9図のとおりで、平均は出火件数32件、損害額1,740万円である。

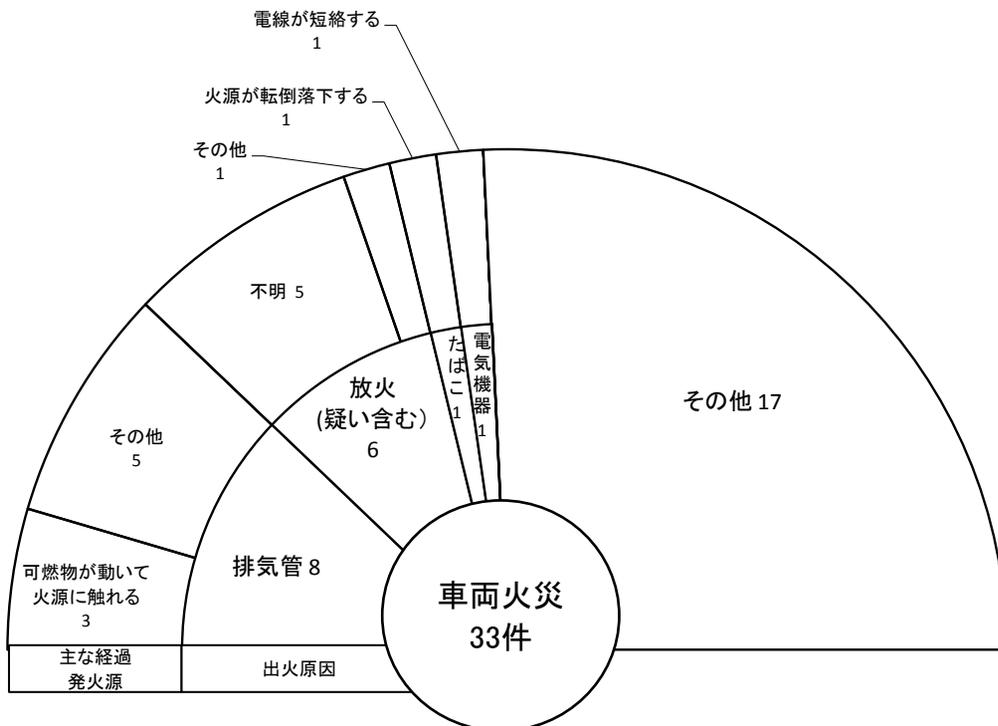
第6-9図 車両火災の推移（過去10年間）



イ 出火原因及び発火源・経過

車両火災の出火原因及び主な発火源・経過は第6-10図のとおりで、排気管が8件（24.2%）と最も多く、次いで放火（疑い含む）が6件（18.2%）となっている。

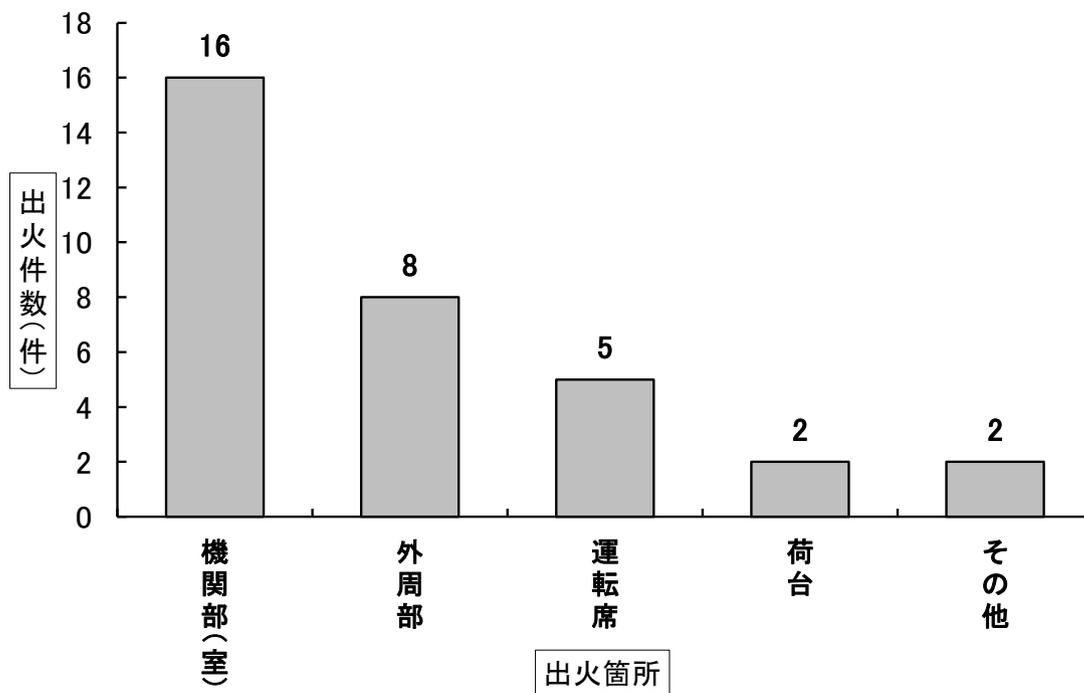
第6-10図 車両火災の出火原因及び発火源・経過



ウ 出火箇所の状況

車両火災の出火箇所は第6-11図のとおりで、機関部（室）が16件（48.5%）と最も多く、次いで外周部が8件（24.2%）となっている。

第6-11図 車両火災の出火箇所の状況

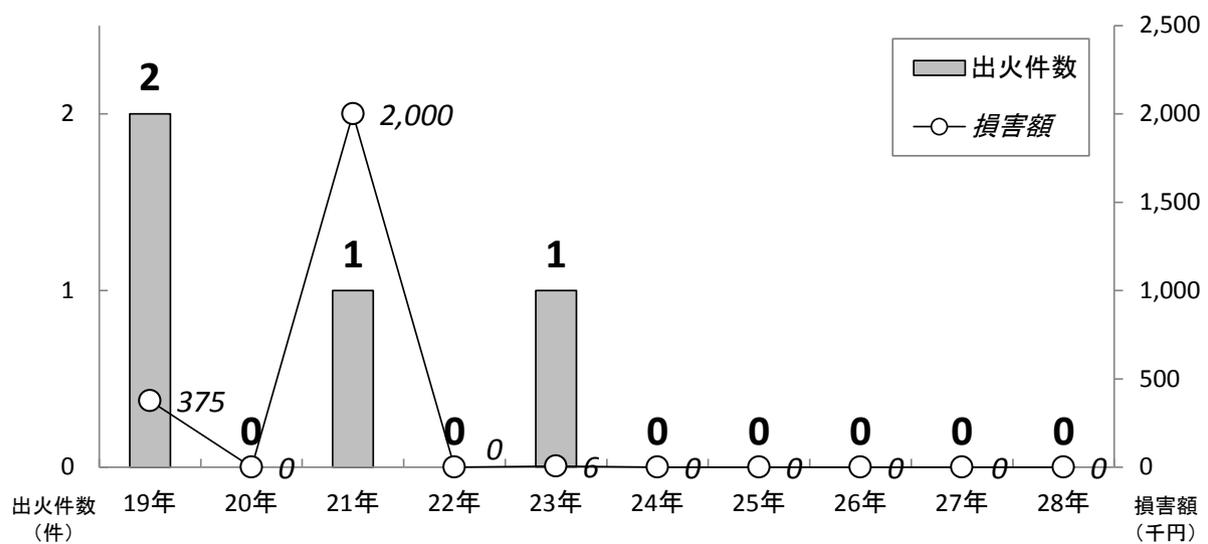


(4) 船舶火災

船舶火災は発生していない。

過去10年間の推移は第6-12図のとおりで、平均は出火件数0.4件、損害額238千円である。

第6-12図 船舶火災の推移（過去10年間）

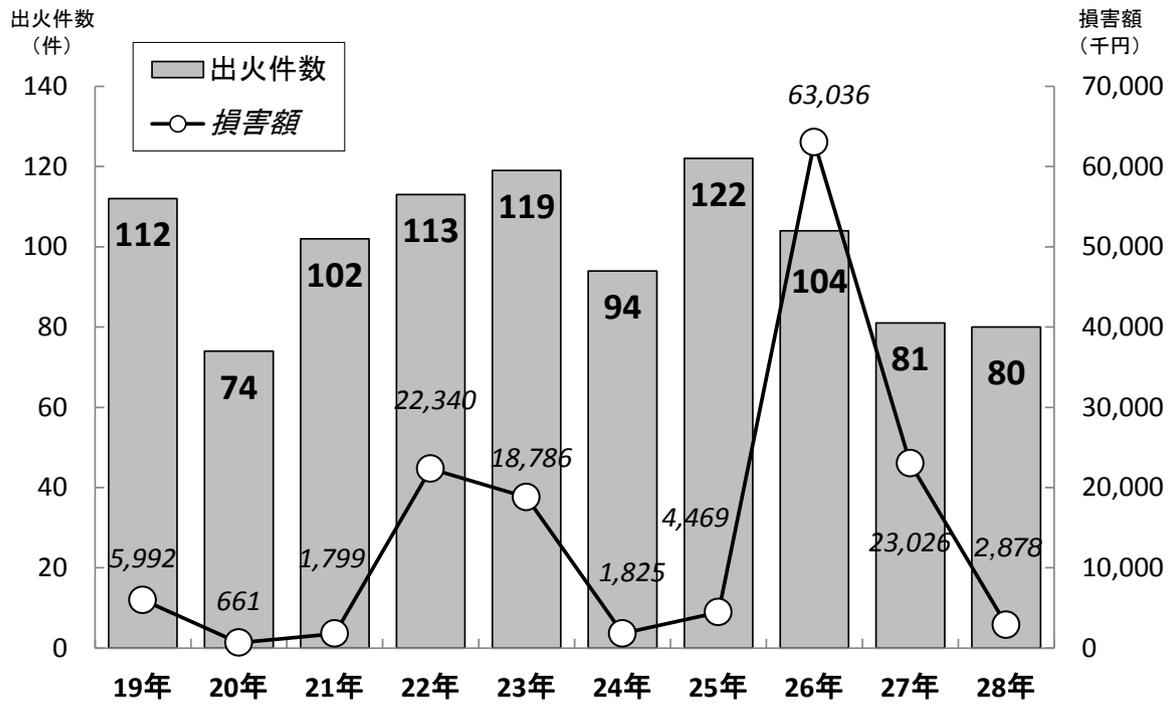


(5) その他の火災

ア 発生状況

その他の火災は80件で、前年に比べると1件減少している。
過去10年間の推移は第6-13図のとおりで、平均は出火件数100件、損害額1,448万円である。

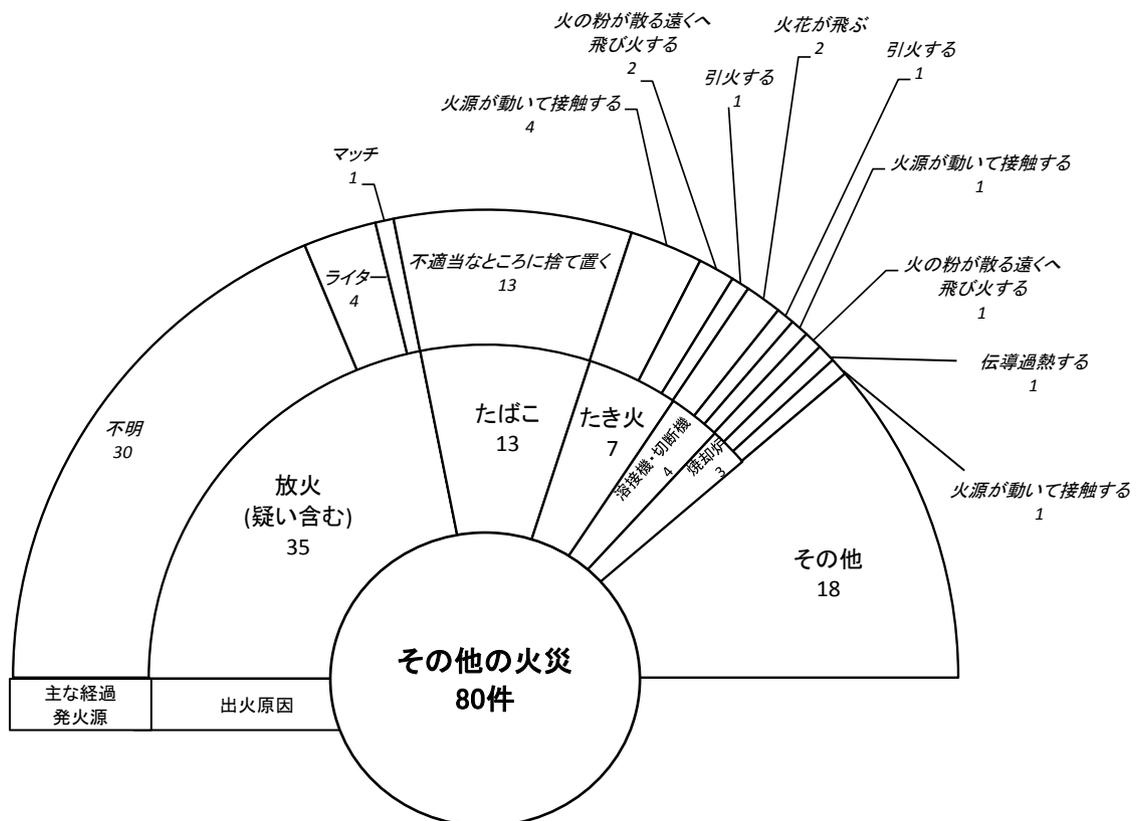
第6-13図 その他の火災の推移（過去10年間）



イ 出火原因及び発火源・経過

その他の火災の出火原因及び主な発火源・経過は第6-14図のとおりで、放火（疑い含む）が最も多く35件（43.8%）、次いでたばこが13件（16.3%）、たき火が7件（8.8%）となっている。

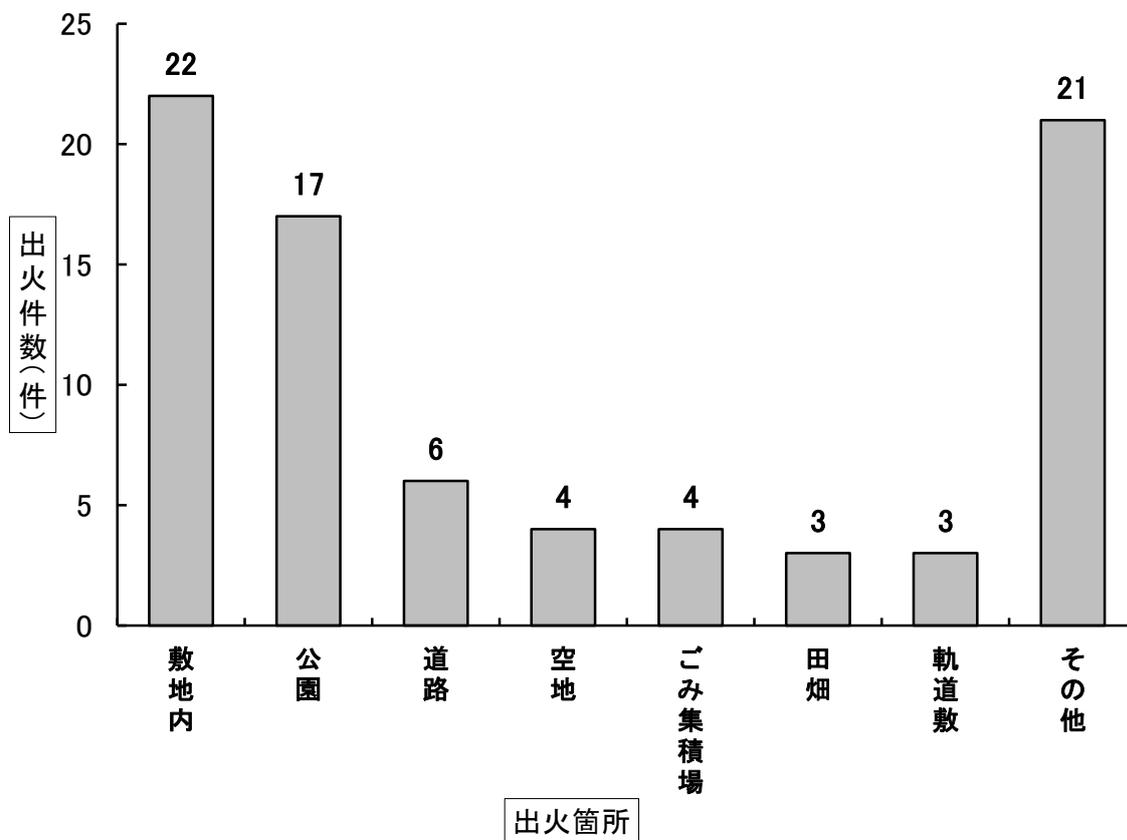
第6-14図 その他の火災の出火原因及び発火源・経過



ウ 出火箇所の状況

その他の火災の出火箇所は第6-15図のとおりで、敷地内が合計で22件で、全体の27.5%を占めている。

第6-15図 その他の火災の出火箇所の状況



7(1) 原因別火災発生状況表

種別 署別	火災件数												焼損棟数				り災世帯			り 災 者 数	死傷者		焼損面積			損害額 (千円)																				
	建物						建物以外						計	全	半	小	死	負	建物		林	合	建物			林	車	船	航	そ	爆															
	計	全	半	部	ぼ	延	計	林	車	船	航	そ							計				全	半	小							者	者	床	表	野	計	小	建	収	野	両	船	機	の	発
累計	265	150	15	2	23	110		115	2	33		80	182	21	5	33	123	108	24	5	79	235	7	39	1,857	261	1	225,781	196,997	162,163	34,834		25,059			3,725										
中央署	計	83	51	5		4	42		32		11		21	62	7	2	7	46	32	8	1	23	59	1	10	453	57		73,811	68,781	40,777	28,004		3,144			1,886									
本署	計	35	24	2		3	19		11		5		6	26	2		3	21	18	3	1	14	30		4	60	16		15,918	15,814	10,707	5,107		93			11									
蘇我	計	25	16			1	15		9		2		7	16			1	15	1			1	2		1	2			19,382	17,790	84	17,706		907			685									
宮崎	計	13	6	2			4		7		4		3	13	4	2	2	5	9	4		5	18	1	4	311	39		35,986	33,903	28,868	5,035		2,050			33									
生浜	計	9	5	1			4		4				4	7	1		1	5	4	1		3	9		1	80	2		2,525	1,274	1,118	156		94			1,157									
臨港	計	1							1				1																																	
花見川署	計	44	23	1	2	4	16		21	1	3		17	24	1	2	5	16	15	1	2	12	41	3	5	119	148		9,466	8,691	7,563	1,128		443			332									
本署	計	10	6		2	2	2		4				4	6		2	2	2	3	1	1	1	8	2	1	97	10		4,266	4,254	3,331	923					12									
幕張	計	17	8				8		9		1		8	8				8	7			7	17		2	1	3		303	46	21	25		193			64									
畑	計	7	4				4		3		1		2	4				4	2			2	6				2		343	64	2	62		130			149									
作新台	計	10	5	1		2	2		5	1	1		3	6	1		3	2	3		1	2	10	1	2	21	133		4,554	4,327	4,209	118		120			107									
稲毛署	計	31	20	2		5	13		11		6		5	29	3	1	10	15	19	4	1	14	48	2	8	442	25		27,206	26,815	24,411	2,404		328			63									
本署	計	27	16	2		5	9		11		6		5	25	3	1	10	11	16	4	1	11	45	2	6	440	23		26,433	26,042	23,911	2,131		328			63									
西千葉	計	4	4				4						4					4	3			3	3		2	2	2		773	773	500	273														
若葉署	計	36	15	2		3	10		21		6		15	18	4		4	10	12	3	1	8	23		9	270	3		50,572	42,896	40,912	1,984		6,457			1,219									
本署	計	5	3				3		2				2	3				3	1			1	2		2		1		226	226	10	216														
桜木	計	5	2			1	1		3		2		1	2			1	1	2			2	4		3	2			499	247	215	32		251			1									
大宮	計	6	1				1		5		1		4	1				1	1			1	2						946					360			586									
都賀	計	9	6	1		2	3		3				3	6	1		2	3	6	2	1	3	7		3	56			20,923	20,913	20,377	536					10									
泉	計	5	1	1					4		1		3	4	3		1		1	1			3			212	2		23,512	21,510	20,310	1,200		1,380			622									
殿台	計	6	2				2		4		2		2	2				2	1			1	5		1				4,466					4,466												
緑署	計	25	12	5		2	5		13	1	4		8	20	6		2	12	17	6		11	38	1	5	539	17	1	41,299	41,002	40,274	728		297												
本署	計	12	5	1		1	3		7	1	1		5	6	1		1	4	5	2		3	16	1	1	131		1	20,148	19,998	19,697	301		150												
誉田	計	2	1	1					1		1		2	1				1	2	1		1	3		1	96			12,563	12,563	12,563															
土気	計	7	5	2		1	2		2				2	11	3		1	7	10	3		7	19		2	297	2		8,424	8,382	7,982	400		42												
越智	計	4	1	1					3		2		1	1	1											1	15	15		164	59	32	27		105											
美浜署	計	46	29			5	24		17		3		14	29			5	24	13	2		11	26		2	34	11		23,427	8,812	8,226	586		14,390			225									
本署	計	10	3			1	2		7				7	3			1	2	8	2		6	17			20	1		5,049	4,824	4,772	52					225									
高浜	計	15	9			4	5		6		1		5	9			4	5	4			4	7		1	14	7		5,902	3,662	3,402	260		2,240												
打瀬	計	21	17				17		4		2		2	17			17	1				1	2		1		3			12,476	326	52	274		12,150											

7(4) 火災の推移状況

(昭和25年～平成28年)

年別	出火件数(件)													出火率	損害状況						
	600	500	400	300	200	100	00	20	40	60	80	100	120		焼損棟数(棟)	焼損床面積(m ²)	損害額(円)	死者(人)	負傷者(人)		
昭和 25														40	13.3	3.0	36	1,182	4,493,000	1	0
26														44	13.4	3.3	57	3,405	244,772,000	0	3
27														38	13.6	2.8	40	1,739	1,230,000	0	4
28														41	15.1	2.7	36	779	2,291,000	0	5
29														76	17.5	4.3	60	2,485	2,383,000	0	8
30														85	19.7	4.3	61	2,991	14,558,000	1	8
31														111	20.4	5.4	99	2,325	29,585,000	0	5
32														112	21.4	5.2	100	2,569	48,310,000	2	15
33														94	23.3	4.0	77	3,626	37,339,000	2	4
34														88	24.4	3.6	79	2,954	40,287,000	1	11
35														100	24.1	4.1	82	3,430	38,322,000	2	7
36														129	25.6	5.0	50	7,641	13,812,000	4	9
37														162	26.9	6.0	126	3,364	48,896,000	0	11
38														222	29.5	7.5	129	8,823	122,604,000	2	21
39														218	31.5	6.9	125	3,822	88,602,000	2	20
40														262	33.2	7.9	128	4,652	97,331,000	4	26
41														246	36.2	6.8	160	5,153	52,989,000	1	11
42														288	38.5	7.5	200	6,370	79,974,000	1	27
43														320	42.0	7.6	238	7,137	83,799,000	10	36
44														340	46.7	7.3	210	5,151	166,799,000	5	24
45														362	48.2	7.5	240	10,719	296,562,000	18	30
46														389	51.6	7.5	276	15,420	1,753,563,000	5	102
47														339	54.4	6.2	295	19,728	350,042,000	8	72
48														478	58.4	8.2	332	8,942	415,958,000	12	49
49														392	62.6	6.3	261	6,138	461,582,000	5	47
50														377	65.9	5.7	242	6,060	763,049,000	10	45
51														375	68.0	5.6	290	6,235	313,163,000	5	32
52														346	70.1	4.9	253	6,120	460,435,000	12	37
53														419	71.8	5.8	297	10,051	708,552,000	12	44
54														458	73.6	6.2	320	9,217	1,117,560,000	21	45
55														291	74.6	3.9	378	5,528	565,104,000	9	35
56														362	75.5	4.8	292	5,422	422,409,000	5	28
57														373	76.1	4.9	242	5,480	474,121,000	6	45
58														324	77.2	4.2	221	5,273	653,827,000	8	30
59														343	78.2	5.9	298	6,259	795,286,000	5	37
60														333	79.0	4.2	293	5,932	584,805,000	6	48
61														335	79.8	4.2	243	5,453	626,188,000	7	34
62														293	80.6	3.6	231	3,715	450,175,000	7	34
63														355	81.6	4.3	308	6,130	887,597,000	13	37
平成 元														388	82.3	3.5	254	4,270	479,883,000	9	34
2														370	82.8	4.5	264	4,144	497,788,000	6	37
3														378	83.4	4.6	273	6,030	1,125,923,000	2	42
4														364	84.3	4.3	285	4,951	650,045,000	11	37
5														395	85.1	4.6	263	5,502	673,725,000	14	67
6														405	85.4	4.7	329	7,802	852,364,000	13	44
7														457	85.7	5.3	300	6,916	685,969,000	14	55
8														403	86.0	4.7	268	6,974	813,388,000	7	50
9														410	86.4	4.7	296	5,839	670,226,000	14	51
10														329	87.2	3.8	274	5,092	464,328,000	15	51
11														383	88.1	4.4	274	6,585	1,010,566,000	12	64
12														369	88.9	4.2	226	4,692	552,004,000	14	50
13														444	89.7	4.9	294	7,028	712,681,000	15	64
14														418	90.5	4.6	265	4,654	584,758,000	12	63
15														366	91.4	4.0	292	6,400	630,600,000	12	78
16														385	91.9	4.2	307	7,368	684,865,000	15	62
17														348	92.5	3.8	229	4,147	474,082,000	14	80
18														323	93.1	3.5	223	4,015	496,228,000	6	68
19														366	93.8	3.9	259	3,394	286,577,000	9	50
20														310	94.9	3.3	228	5,348	381,556,000	2	71
21														316	95.6	3.3	216	5,575	684,774,000	6	57
22														317	96.3	3.3	224	5,468	418,089,000	12	38
23														316	96.3	3.3	187	5,414	446,250,000	12	39
24														295	96.3	3.1	197	3,694	401,041,000	13	40
25														330	96.2	3.4	220	4,059	510,491	13	55
26														300	96.3	3.1	206	3,156	381,765,000	5	78
27														279	96.7	2.9	211	3,314	349,203,000	8	44
28														265	97.3	2.7	182	1,857	225,781,000	7	39

火 災 統 計

平成 29 年 7 月発行

編集発行 千葉市消防局予防部予防課

千葉市中央区長洲 1-2-1

電話 043-202-1663 FAX 043-202-1669

E-Mail yobo.FPP@city.chiba.lg.jp